

平成30年度共同事業 実施状況一覧

(1) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(平成31年1月末時点)	
1	平成大山講プロジェクト 推進協議会	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 斉藤進非常勤 講師	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期 日	平成30年6月11日、12月19日 平成31年3月末(予定)
						場 所	伊勢原市役所 青少年センター 他
						内 容	総会、事業の途中経過等報告 他
						参加者数	21名(他 事務局)
						成果及び課題	観光事業者、交通事業者及び大学教授の専門的見地より意見をいただき、大山を中心とした連携を行い、県より認定をうけた「観光の核づくり事業」を推進した。
2	伊勢原市日本遺産協議会 委員	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 斉藤進非常勤 講師	文化庁より認定をうけた「日本遺産 大山詣り」の周知・啓発を進め、観光誘客及び地域振興を目指す。	期 日	平成30年5月29日、11月29日
						場 所	伊勢原市役所 全員協議会室 他
						内 容	総会、事業の途中経過等報告 他
						参加者数	28名(他 事務局)
						成果及び課題	「大山詣り」を活用した教育旅行の誘致やその他啓発物品を作成し、市内に配布するなど、普及啓発を促進した。
3	伊勢原市商業振興事業 プラン策定検討委員会	新規 (単年度)	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准 教授	伊勢原市商業振興事業プランの策定に向けた検討を行う	期 日	平成30年8月1日、8月29日、9月21日、10月19日、11月6日 平成31年1月30日
						場 所	商工会館 記帳指導室 他
						内 容	計画策定のスケジュール、内容等の検討
						参加者数	25名(他 事務局)
						成果及び課題	プラン策定にあたり、専門的見地より意見をいただいている。
4	伊勢原市社会福祉審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	情報マネジメント学部 松岡 俊教授	市長の諮問に応じて社会福祉に関する事項について、調査及び審議を行う。	期 日	平成30年11月27日 平成31年2月19日(予定)
						場 所	中央公民館、子ども科学館会議室
						内 容	第1期伊勢原市自殺対策計画の策定について
						参加者数	12名
						成果及び課題	専門的見地から議題について意見をいただいている。
5	伊勢原市都市計画審議会	継続	都市部 都市政策課	経営学部 木村 剛教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期 日	第1回:平成30年8月24日 第2回:平成30年11月6日
						場 所	伊勢原市役所3階 全員協議会室 等
						内 容	第1回: ・都市計画下水道第2号公共下水道の変更について、立地適正化計画における都市機能誘導区域及び誘導施設の設定について(案) 等。 第2回: ・開発動向等について、景観まちづくりについて等。
						参加者数	14名
						成果及び課題	委員の委嘱と、議案に関して専門的見地から意見をいただいた。

(2) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(平成31年1月末時点)	
1	伊勢原吹奏楽フェスティバル	継続	市民生活部 市民文化会館	産業能率大学 吹奏楽部 SANNOWィンド・オーケストラ	芸術・文化の普及・振興	期日	平成30年6月17日
						場所	伊勢原市民文化会館 大ホール
						内容	吹奏楽演奏
						参加者数	1,211名(入場者数)
						成果及び課題	芸術・文化の普及・振興を図ることができた。
2	子育て支援センター事業	継続	子ども部 子育て支援課	情報マネジメント学部 荒木淳子准教授	子育て中の母親が、地域と繋がる場作りとして、子育てワークショップを開催し、学生に地域貢献の環境を提供する。	期日	平成30年6月29日
						場所	伊勢原市中央公民館3階第1集会室
						内容	子育てワークショップ 「子育てムービーを作ろう」
						参加者数	4組10名(うち託児6名)
						成果及び課題	デジタルストーリーテリングを活用した、学習ワークショップにより、様々な思いを母親同士で語り、共感し合った。託児の利用も多く、母親が自分の時間を求めている事がうかがえた。学生の存在が「子どもの近い将来」と身近に感じ、話しやすかったという母親も多く、参加しやすい時間帯等検討しながら、今後も継続していく。
3	子育て応援フェスタ	継続	子ども部 子育て支援課	情報マネジメント学部 荒木淳子准教授	リーディングプロジェクト「未来につなげる子育て環境づくりプロジェクト」の取組の一環として、親子が楽しめるイベントを開催し、子育て支援センター事業のPRを図る。	期日	平成30年10月27日
						場所	青少年センター体育館
						内容	「子育てムービーを作ろう」
						参加者数	50名
						成果及び課題	子育てワークショップ「子育てムービーを作ろう」の形を変え、子育て応援フェスタにて荒木ゼミによるブースを出店した。動画作成は、父親の参加も多く、学生と親子が触れ合う場を提供した。
4	科学工作教室 「夏休み思い出ムービーを作ろう」 「プログラミング教室」	継続	教育部 図書館・子ども科学館	情報マネジメント学部 荒木淳子准教授 北川博美教授	子どもを対象としたプログラミングのワークショップやイベントを継続的に実施し、機械の仕組みやものづくりの楽しさを学ぶ。	期日	①平成30年8月23日 ②平成31年2月17日
						場所	子ども科学館
						内容	①「夏休み思い出ムービーを作ろう」 ②プログラミング体験(入門編)～スクラッチでゲームを作ろう～
						参加者数	①12名②20名
						成果及び課題	①パソコンを使って動画作成を行うことで、パソコンの基礎的な知識を身につけることができた。 ②プログラミングソフトのスクラッチを使い、オリジナルのゲームを制作してプログラミングの基礎を学ぶことができた。

(3) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(平成31年1月末時点)	
1	伊勢原観光道灌まつり クリーンキャンペーン	継続	経済環境部 商工観光課	湘南学生サー ビスセンター 情報マネジメ ント学部学生	伊勢原観光道灌まつり を通じて、健全な地域社 会の発展及び人材の育 成を目的として、協働活 動による協力関係を推 進する	期日	平成30年10月13日～14日
						場所	伊勢原駅周辺
						内容	まつり会場内の清掃活動
						参加者数	28名(2日間)
成果及び課題	2日間に渡り、まつり会場内の清掃活動を行っ た。						
2	伊勢原観光道灌まつり への出店	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメ ント学部 古賀暁彦教授 古賀ゼミ生	伊勢原観光道灌まつり への参加を通じ、市と大 学との交流を深めるとも に、協働活動による協 力関係を推進する	期日	平成30年10月13日～14日
						場所	伊勢原駅周辺
						内容	おまつり広場交流テントでの飲食販売 (大豆豆腐)
						参加者数	2日間 延べ 約20名
成果及び課題	まつり参加を通じて、大学との連携を深めること が出来た。						
3	愛甲石田駅南口ロータ リーふれあい祭	継続	都市部 都市政策課	湘南学生サー ビスセンター 情報マネジメ ント学部学生	イベントの円滑な進行と 地域住民とのふれあいの 場を創出する。	期日	平成30年5月19日
						場所	愛甲石田駅南口ロータリー
						内容	司会進行
						参加者数	2,000名
成果及び課題	地域コミュニティを活性化することができた。						
4	シティプロモーション動 画の作成	新規 (単年度)	企画部 広報戦略課	情報マネジメ ント学部 柴田匡啓 教 授 柴田ゼミ学生	学生の自由な視点と発 想により、伊勢原の魅力 を引き出すプロモーション 動画を制作・配信す る。	期日	平成30年4月26日、6月6日、6月21日、10月11 日、11月15日、12月26日、1月18日・24日(継続 中)
						場所	伊勢原市役所広報戦略課事務室、産業能率大 学 ほか
						内容	シティプロモーション動画の作成(打ち合わせ、 ロケハン、撮影、編集)
						参加者数	61名
成果及び課題	12月20日に1作目、1月9日に2作目を配信。ツイ ッター、YouTube合わせて約4,200人が視聴し た。3月までに計4作を配信予定。引き続き、効 果的な配信方法や成果を検証する。						

(4) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(平成31年1月末時点)	
1	災害時における施設使 用等に関する協定書	継続	企画部 危機管理課	湘南管理課	災害時の施設使用に係 る要請窓口及び担当者 の確認	期日	平成30年7月2日
						場所	危機管理課執務室
						内容	災害時協力協定に係る窓口・担当者確認
						参加者数	1名
成果及び課題	災害時における連絡体制の強化						

(5) その他

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(平成31年1月末時点)
1	就業体験学生(インターンシップ)実習事業	継続	総務部 職員課	湘南教務課	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。(学生3名程度)	期 日 平成30年8月6日～8月10日
						場 所 伊勢原市役所 (広報戦略課、健康づくり課、商工観光課)
						内 容 インターンシップの受け入れ
						参加者数 3名
						成果及び課題 行政に参加する機会と情報を学生に提供した。
2	放課後子ども教室	新規	子ども部 青少年課	情報マネジメント学部 荒木淳子准教授 荒木ゼミ生	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など様々な年齢の人々とふれあう。	期 日 平成30年10月3日～平成31年3月末日
						場 所 比々多小学校
						内 容 学習、工作教室、スポーツ、科学ショーなど
						参加者数 比々多小学校(63名)
						成果及び課題 放課後子ども教室(ひびた教室)の運営支援等の協力を依頼したところ、情報マネジメント学部荒木ゼミより6人の学生の参加が得られた。